

<h1>上小っ子</h1>	<h2>NO.2</h2> <p>上野原市立上野原小学校 発行日：平成 28 年 5 月 25 日 発行者：校長 中込 一雄 TEL：62-3104</p> 
---------------	--

夢の教室開催

～夢を持つことの大切さを学ぶ～

JFAこころのプロジェクトでは、現役のスポート選手や、そのOB/OGなどの関係者を「夢先生」として小学校に派遣し、「夢の教室」と呼ばれる授業を行い、「夢を持つことの大切さ」、「仲間と協力することの大切さ」などを講義と実技を通じて子どもたちに伝えています。

上野原市では、市内の全小中学校で「夢の教室」を実施することになりました。本校はそのトップバッターとして、先日、5年生の3クラスを対象に行いました。

第1回目は、5月9日に5年1組の児童を対象に行われました。夢先生はハンドボール選手の東俊介先生でした。前半の「ゲームの時間」では体育館で体を動かしました。「だるまさんが転んだ」をアレンジしたゲームを通じて、一つの目的のために協力すること、相手を思いやることやフェアプレー精神を学びました。後半の「トークの時間」では、夢先生が「夢曲線」を使って、これまでの体験を話し、児童とともに夢について語り合いました。走ればびりっけつ、鉄棒も水泳もマット運動も苦手で運動音痴の「ウンチ」と呼ばれていた小学校6年生、運動音痴の少年がハンドボールに出会い、努力する習慣と思いやりを身につけ、数々の挫折を乗り越えて日本代表主将になるまでのお話は、児童だけでなく私たちも心を引きつけられました。「頑張る、頑張らないを決めるのは自分。頑張れば少しくなる、うまくなる」と楽しくなる、そしてさらに頑張る。反対に、だめって言われたいためには止めてしまえば良い、止めれば楽ちん、そのうちにだめな自分を見られたくないから止め癖がつく。」そんな言葉が印象的でした。”がんばりグセ”をつけたいか、それとも”やめグセ”をつけたいか、人生は出来る出来ないではなく、やるか逃げるか。児童も私たち大人も感動出来て勇気が出るお話でした。

2回目と3回目は、5月10日に行われました。午前は5年2組、午後は5年3組の児童を対象に行いました。夢先生は車椅子バスケットボール選手の京谷和幸先生でした。1日目と同様、前半の「ゲームの時間」では体育館で、体を動かしました。「ワールドカップに出たい、プロサッカー選手になりたい。」という夢を持ち、人の何倍も努力し、ついに、ジェフ市原とプロ契約をするも、93年Jリーグ開幕半年後に交通事故で車椅子生活となってしまいました。目標がなくなり、努力できない状態になりました。今まで自分は天才だと思っていたけれど、事故に遭ってから人に助けられることを学び、恩返ししようと思ったそうです。夢を持つことは、年齢や性別、障害があろうとなかろうと、誰しもが持っているもの。プロサッカー選手になりたい、パラリンピックに出場したい、どんなときでも、夢を持ち続けて生きて来たそうです。最後に夢実現に向けての5つのステップについてお話がありました。

お二人のお話は児童にとっても私たちにとっても「がんばろう」という気持ちがわいてくる大変素晴らしいお話でした。

夢実現に向けてのステップ5

- ステップ1 夢を持つ。だれでも持てる。
- ステップ2 行動する。やってみる。夢は目標が変わる。
- ステップ3 あきらめない。あきらめずに行動したときに必ず訪れるものが出会い。
- ステップ4 出会いを大切に。出会いが、人間として成長させてくれる。
- ステップ5 感謝。また新たな出会いが訪れる。「感謝」こそ、夢を実現するための、最強にして「最幸」のアイテム)

東俊介先生のプロフィール

1975年石川県金沢市生まれ。ハンドボール日本代表主将。大崎電気にて日本一を9度獲得、日本代表としてアテネ五輪アジア予選、アジア選手権など数々の国際試合に出場し、2009年に現役引退。引退後は早稲田大学大学院にて元巨人軍の桑田真澄氏とともにスポーツマネジメントを学び、修士論文は優秀論文賞を受賞。ハンドボールをビジネスとすべく、日本リーグ機構の運営に関わり、現在は独立。



ご自身の体験をユーモアを交えながら熱く語る東先生

京谷和幸先生のプロフィール

1971年北海道室蘭市生まれ。ジェフ市原とプロ契約をするも、93年Jリーグ開幕半年後に交通事故で車椅子生活となる。2000年のシドニーパラリンピックから日本代表入りを果たし、アテネ・北京・ロンドンと4大会連続でパラリンピックへ出場。08年の北京大会では日本選手団主将を務めた。2012年ロンドンパラリンピック閉幕と同時に現役を引退。現在は城西国際大学サッカー部の外部コーチとして、また車椅子バスケットボール男子日本代表のアシスタントコーチとして、健常者・障がい者の枠を越えた指導者として活躍中。

日	曜日	6月の主な予定
1	水	学校集会 スポーツテスト
2	木	耳鼻科検診 短縮4校時 北教研
3	金	スポーツテスト 体重測定
4	土	
5	日	
6	月	プール開き スポーツテスト
7	火	3年校外学習 2年町探検① 1年2組裏山
8	水	学校開放 Pスクール 音楽集会 道徳公開
9	木	クラブ 1年3組裏山探検
10	金	なかよし集会 愛校作業
11	土	
12	日	
13	月	
14	火	2年町探検② P執行部会
15	水	集団下校 代表委員会
16	木	委員会活動 4年消防署見学
17	金	5年移動教室
18	土	5年移動教室
19	日	
20	月	
21	火	読み聞かせ 縄跳び集会
22	水	
23	木	クラブ 縄跳び集会
24	金	学校委員会 特別支援夏季交歓会
25	土	
26	日	
27	月	読み聞かせ
28	火	3年授業参観・学級懇談会 6年八重山観察
29	水	
30	木	公開研究
31	金	

「輝くヒーロー、上小っ子」H28 児童会スタート

第1回児童総会が行われ、スローガンや活動方針が決定されました。本年度のテーマは「輝くヒーロー、上小っ子」です。一人一人が「ヒーロー」として、得意なことや自分ができることを見つけ、充実した毎日を送り、素晴らしい上小にしていこうという願いが込められています。活動方針として「あいさつ」「交流」「継続」の3本の柱が立てられています。私も「楽しい学校、上野原」を目指して、あいさつや心のふれあいを大切にしたいと考えていますので、児童会と同じ方向を向いて力を合わせたいと思います。当日は、各学級から活発に意見が出され、児童会が提案した内容をより深めることができました。



自転車事故防止に向けて、4年交通安全教室

本校では4年生を対象に自転車による交通安全教室を行っています。今年も、上野原署、交通安全協会、専門交通指導員の皆様のご協力をいただき、実施しました。上野原警察署の方から、自転車の安全な乗り方についてお話をいただき、その後、実際に自転車に乗り、校庭に描かれた交差点や道路で、正しい乗り方の学習をしました。また、室内では交通安全のビデオも見ました。上野原地区は道路が狭い箇所もあり、また、朝夕は交通量も多い地区です。こういった交通安全教室を通して、児童が交通事故に巻き込まれないようにしていきたいと思っています。



思い出に残る修学旅行

6年生は1泊2日で、鎌倉・東京方面に修学旅行に行ってきました。鎌倉での班別自由行動では、落とし物を探しに行った友達を待っていて予定の電車に乗れなかったにもかかわらず、不満を言うこともなく「いいよ。」と言葉かけをする心温まる場面もありました。鳶にお弁当を狙われるなど、班それぞれ様々なハプニングもありましたが、全員無事にゴールの鶴岡八幡宮に到着しました。油壺の旅館に到着した後、海岸遊びもしました。体中びしょびしょになってしまう児童もいましたが、それとても良い体験になりました。テーマ「ルールを守って、思い出に残る修学旅行にしよう」が実現できた2日間でした。



■小町通りではお土産を一生懸命選びました。
■海岸では思いっきり遊びました。



PTA 総会開催

平成28年度 PTA 総会が開催され、本年度の事業計画と新しい役員が決定しました。全会員一丸となって PTA 活動を盛り上げていただけたらと思います。

新しい役員の皆様

会長 坂本吉康
副会長 坂本康嘉 白鳥純雄 植松由紀
山口香代子
書記 和田 豊
会計 網野直美
顧問 小林茂明
宜しく願いいたします。



校長室の窓

始業式で「ありがとう」「だいじょうぶ」といった優しさをもらえて元気になる言葉「ふわふわことば」でいっぱいにしてほしいという話をしました。そして、友達や家族からかけてもらった「ふわふわ言葉」を募集することを伝えておきました。校長室前に、「ふわふわことば」のポストを置いたのですが、予想以上にたくさんの「ふわふわことば」が集まり、最初1本だけの「ふわふわことばの木」が3本になりました。上小には温かな心を持った子供たちがたくさんいるんだと改めて感じることができ、私自身の心も温まったような気がします。「楽しい学校、上野原」に向けて一歩踏み出せたと実感しました。



■ころびそうになったとき、「だいじょうぶ。」っていつてくれた。うれしかった。(2年生)
■連絡帳が見つからないとき、「一枚、これあげる。」と言ってくれた。すごうれしかった。(6年生)